

<新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業（2026年度）>

バイオエタノール由来C3プラットフォームを基盤としたSAF選択合成技術の開発

1. 事業概要（バイオマス利用促進分野、フェーズB）

〔内容〕バイオエタノール由来プロピレン（C3）を原料に、持続可能な航空燃料（SAF）を高効率・低コストで製造する新たな触媒プロセスを開発し、次世代SAF製造技術の確立を目指す。

〔背景・経緯〕SAF需要の拡大が見込まれる一方、既存技術には原料制約や高コストなどの課題がある。iPEACE223が開発したバイオエタノール由来プロピレン製造技術を基盤に、新たなSAF製造技術へ展開する。

〔狙い、波及効果〕航空分野の脱炭素化に貢献するとともに、グリーンプロピレンやグリーンプロパンなどへの展開を通じ、化学・エネルギー産業の脱炭素化を促進する。

〔事業化〕国内での小規模分散型プラントによる実用化を進め、関連企業との連携により事業展開を図る。将来的には、バイオエタノール生産地域へのライセンス展開や触媒販売を目指す。

2. iPEACE223株式会社

本社所在地	東京都中央区築地一丁目12番22号コンワビル2階
設立／資本金	2023年設立／1億円
従業員数	5名（西暦2026年8月現在）
事業内容	バイオエタノールを原料とした化学品・燃料製造技術の研究開発。ETPプロセスを基盤としたグリーンプロピレン、グリーンプロパンおよび持続可能な航空燃料（SAF）の製造技術開発・事業化。

3. その他機関

機関名：国立大学法人東京科学大学

・持続可能な航空燃料（SAF）の高効率製造に向けた触媒技術の研究開発を担当

